

平成30年度若い世代の移住・定住に関するアンケート結果

1 アンケート概要

(1) 目的

本市の若い世代（概ね49歳以下）の移住・定住の促進に関する取組に対する市民の満足度や意見を把握するため。

(2) 対象

モニター 103名

(3) 回収数

58件（若い世代 23件）

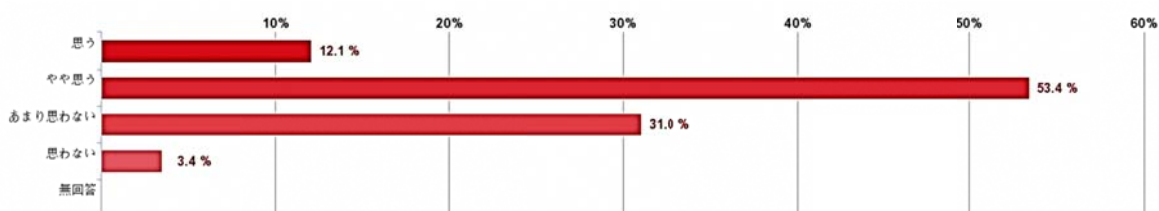
(4) 調査時期

平成30年4月25日（水）～平成30年5月6日（月）

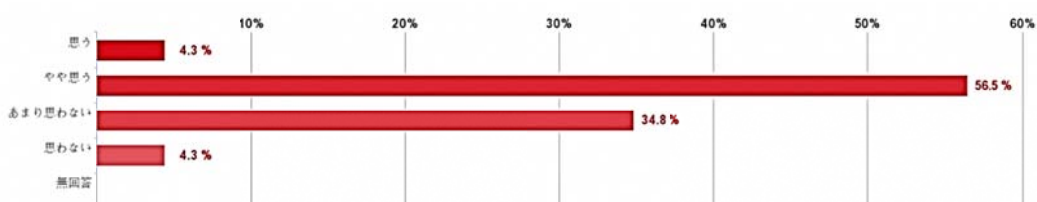
2 アンケート結果

Q1 あなたは、白井市を全体的にみて、若い世代が暮らしやすいまちであると思いますか。

【全回答】n=58



【若い世代回答】n=23

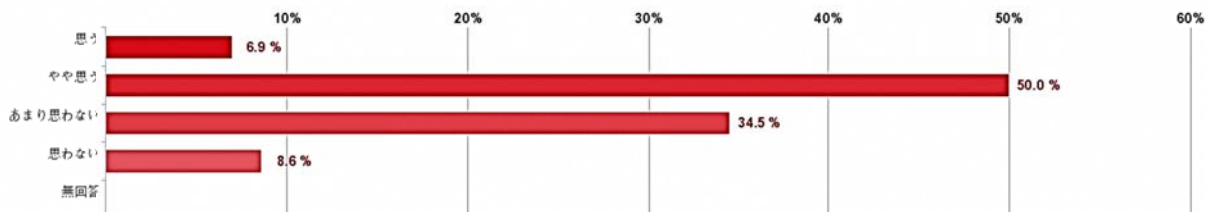


若い世代の方に移住・定住していただくためには、住環境や働く場、子育て環境の充実が必要です。

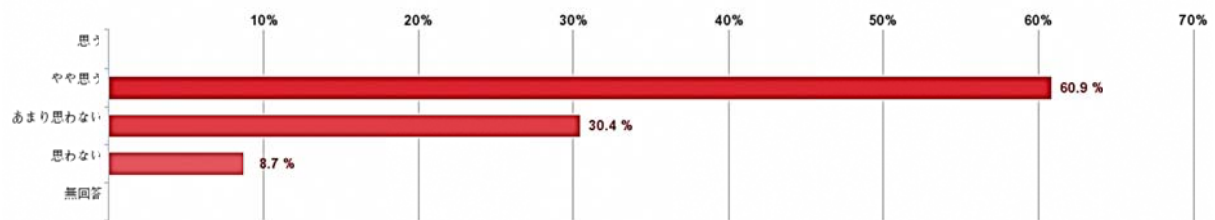
そこで、初めに、白井市の住環境についておたずねします。

Q2 あなたは、白井市に若い世代が快適に暮らせる住環境が整っていると思いますか。

【全回答】n=58

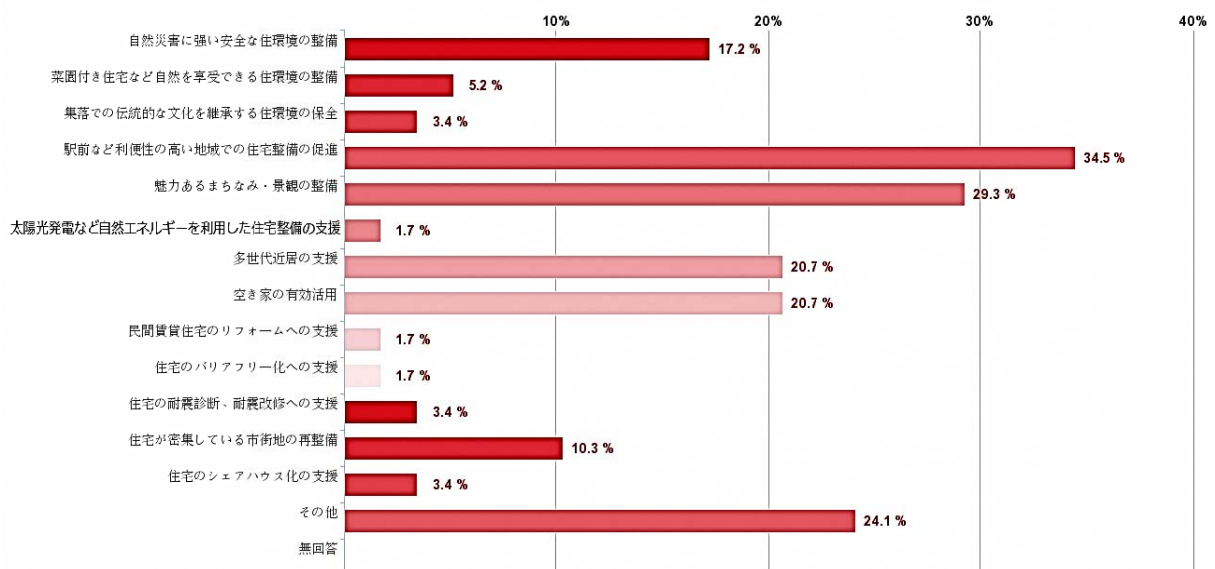


【若い世代回答】 n=23

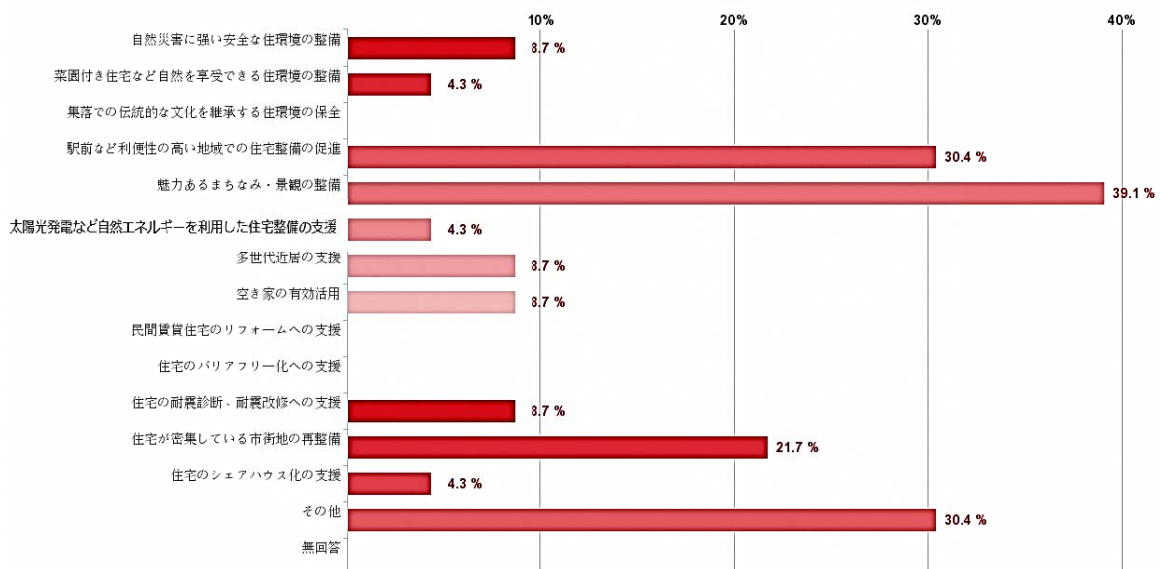


Q3 あなたは、白井市が若い世代にとって快適に暮らせる住環境を整えるために、今後どのような取組が重要と考えますか。次の中から2つまで選択してください。

【全回答】 n=58

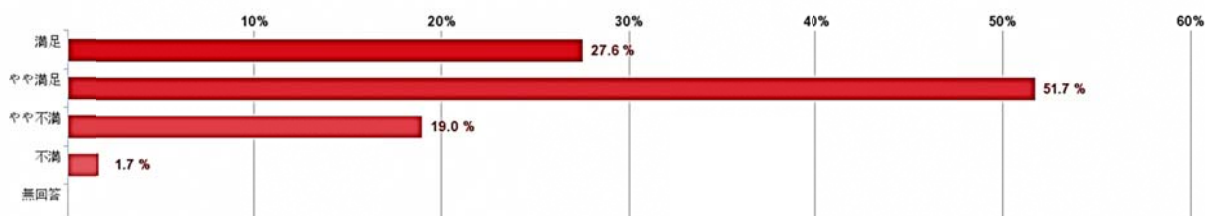


【若い世代回答】 n=23

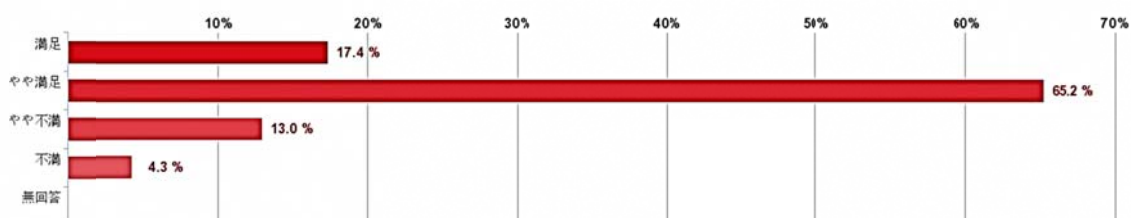


Q 4 白井市では、若い世代が白井らしい豊かな暮らしを楽しめる環境づくりに向けて、市内のみどりやその中にある歴史・文化資源の魅力を発見できる機会の創出に取り組んでいます。あなたは、白井市内のみどりの環境に満足していますか。

【全回答】 n=58

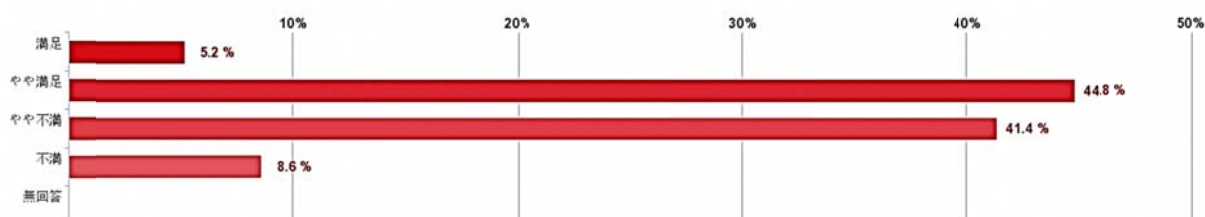


【若い世代回答】 n=23

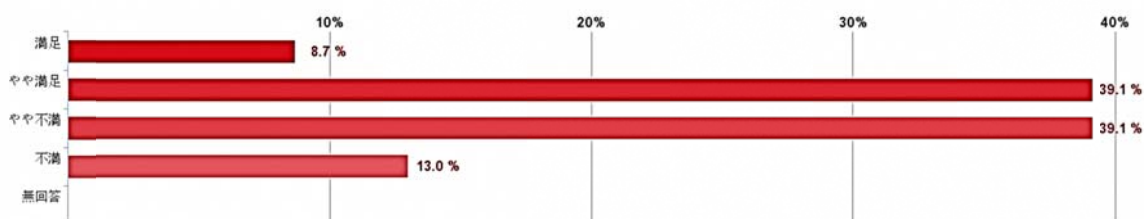


Q 5 Q 4に関連して、あなたは白井市内の歴史・文化資源の保全・活用に満足していますか。

【全回答】 n=58



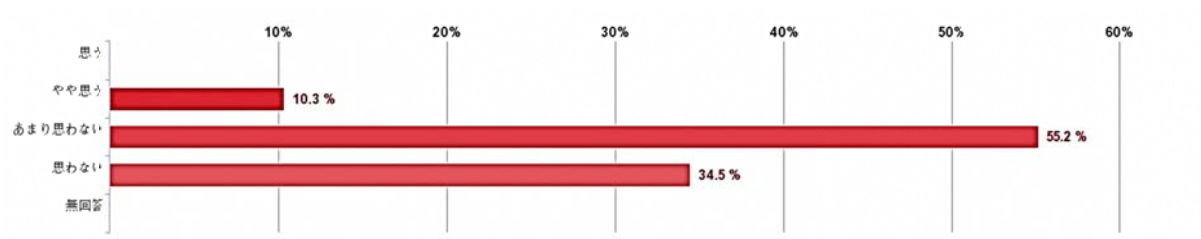
【若い世代回答】 n=23



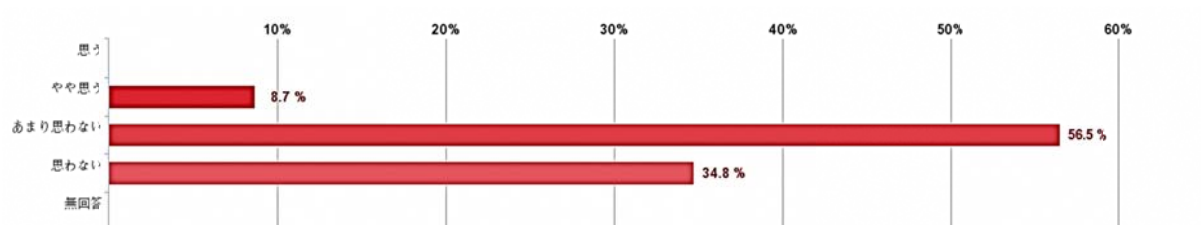
白井市での就業についておたずねします。

Q 6 あなたは、白井市内に働く場が充実していると思いますか。

【全回答】 n=58

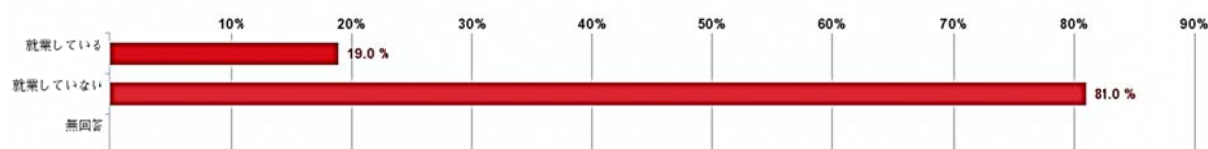


【若い世代回答】 n=23

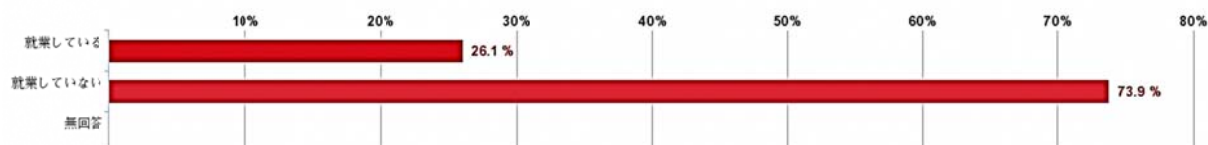


Q 7 白井市では、白井市内に立地する企業の市民雇用を促進しています。あなたは、白井市内で就業していますか。

【全回答】 n=58



【若い世代回答】 n=23

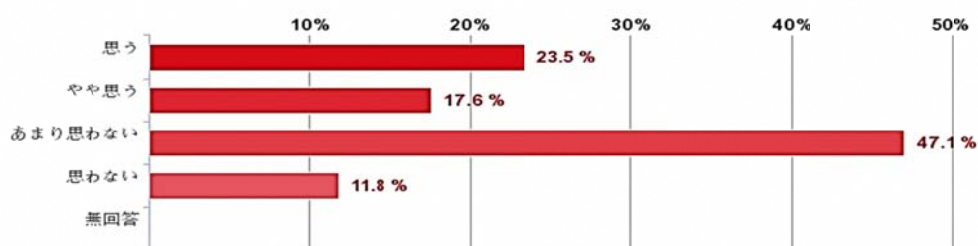


Q 8 Q 7で「就業していない」と回答した方におたずねします。 あなたは、就職・転職の際に、白井市内で就業したいと思いますか。

【全回答】 n=48

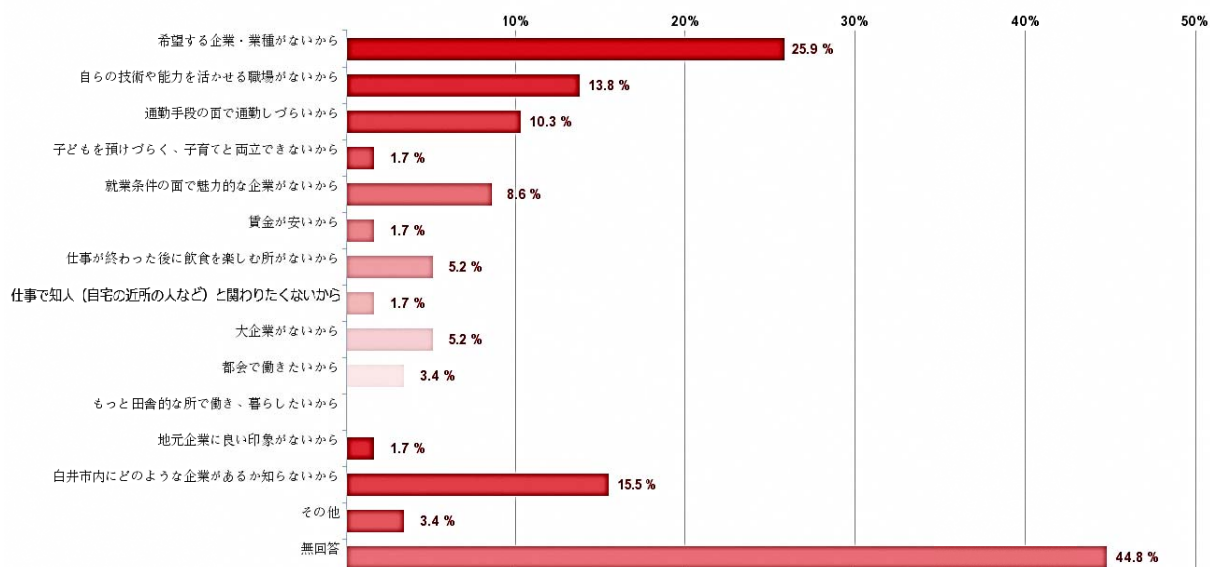


【若い世代回答】 n=17

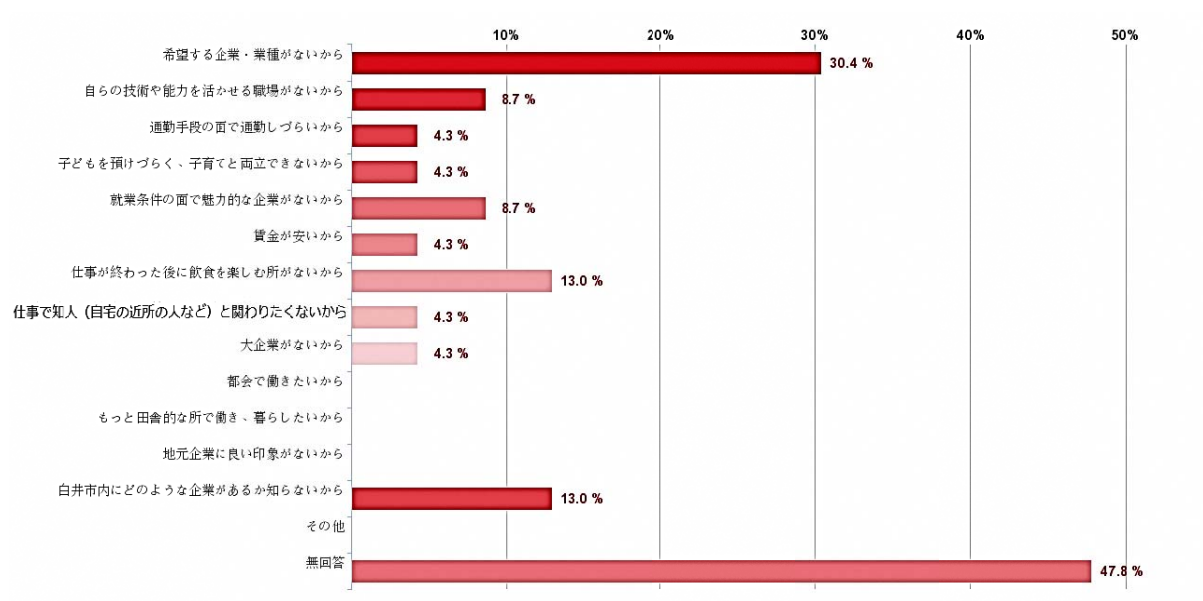


Q 9 Q 8で「あまり思わない」、「思わない」と回答した方におたずねします。 あなたが、白井市内で就業したいと思わない理由は何ですか。次の中から2つまで選択してください。

【全回答】 n=32



【若い世代回答】 n=12

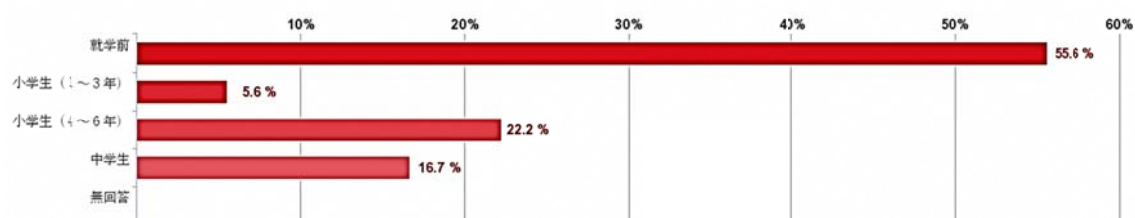


子育てに関することについておたずねします。

Q 1 0からQ 1 7については、0歳から中学校3年生までのお子様がいらっしゃる方のみお答えください。

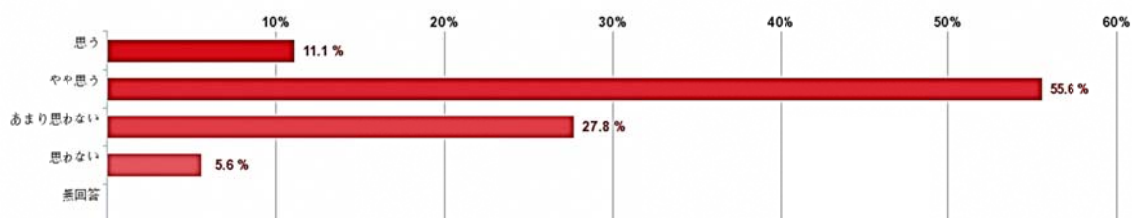
Q 1 0 一番下のお子様の年齢を選択してください。

n=18



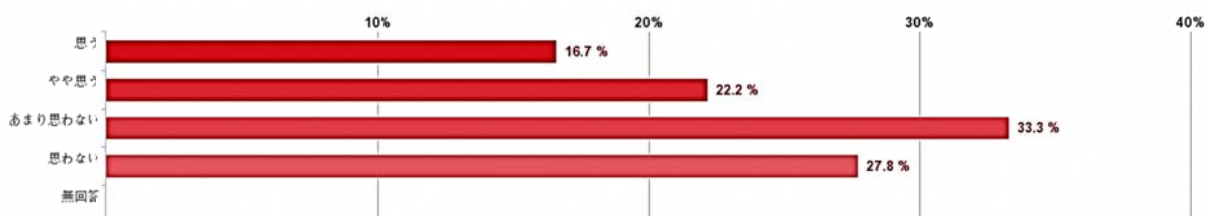
Q 1 1 あなたは、白井市は子育てしやすいまちであると思いますか。

n=18



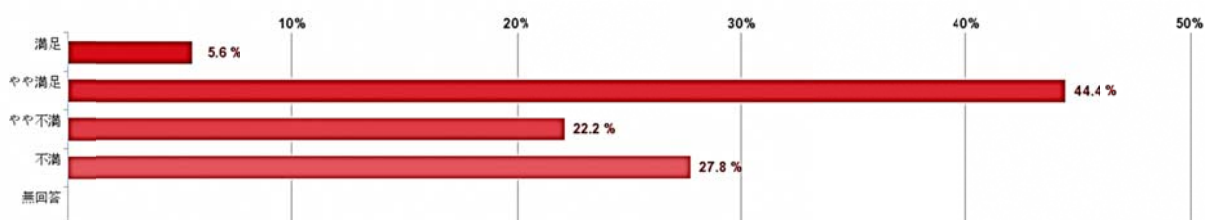
Q 1 2 白井市の外出環境についておたずねします。あなたは、白井市には、親子で外出しやすい環境（公園や道路環境など）が整っていると思いますか。

n=18



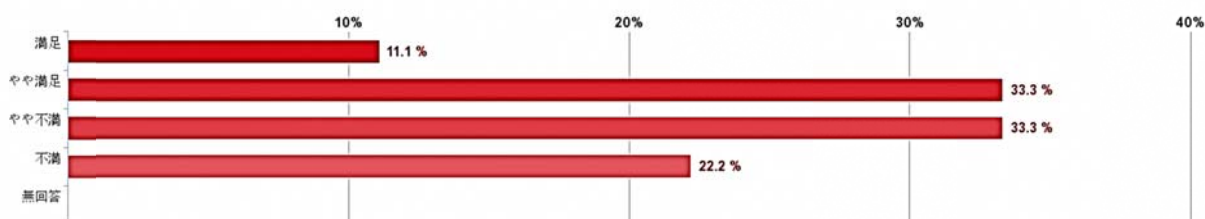
Q 1 3 白井市では、ベビーカーでも移動しやすい環境を目指して、道路のバリアフリー化に取り組んでいます。あなたは、市内の道路のバリアフリーに満足していますか。

n=18



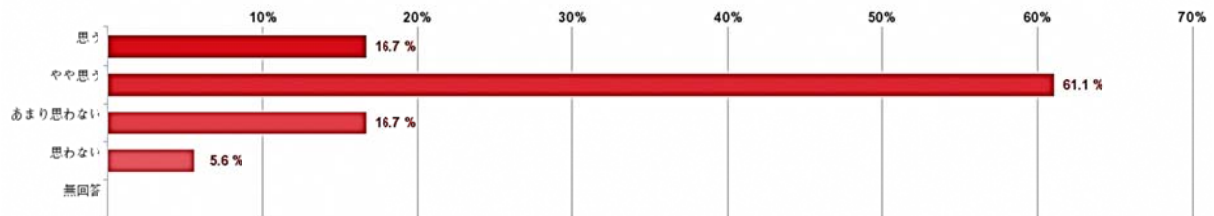
Q 1 4 次に、白井市の保育サービスについておたずねします。白井市では、保育所の誘致や、病児・病後児保育の実施など、保育サービスの充実に取り組んでいます。あなたは、白井市の保育サービスに満足していますか。

n=18



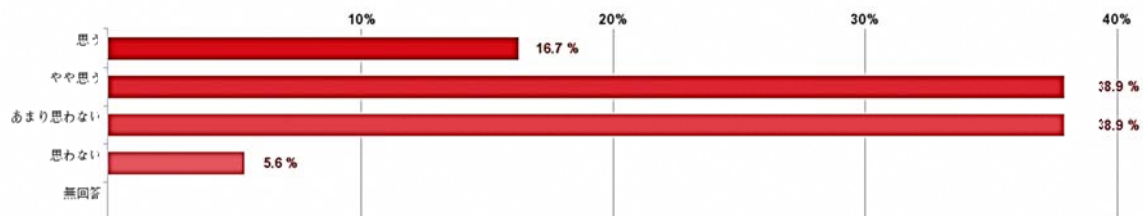
Q 15 次に、子育てに係る経済的負担についておたずねします。白井市では、子どもにかかる医療費を助成し、子育ての経済的負担の軽減に取り組んでいます。あなたは、この制度により子育ての経済的負担が軽減されていると思いますか。

n=18



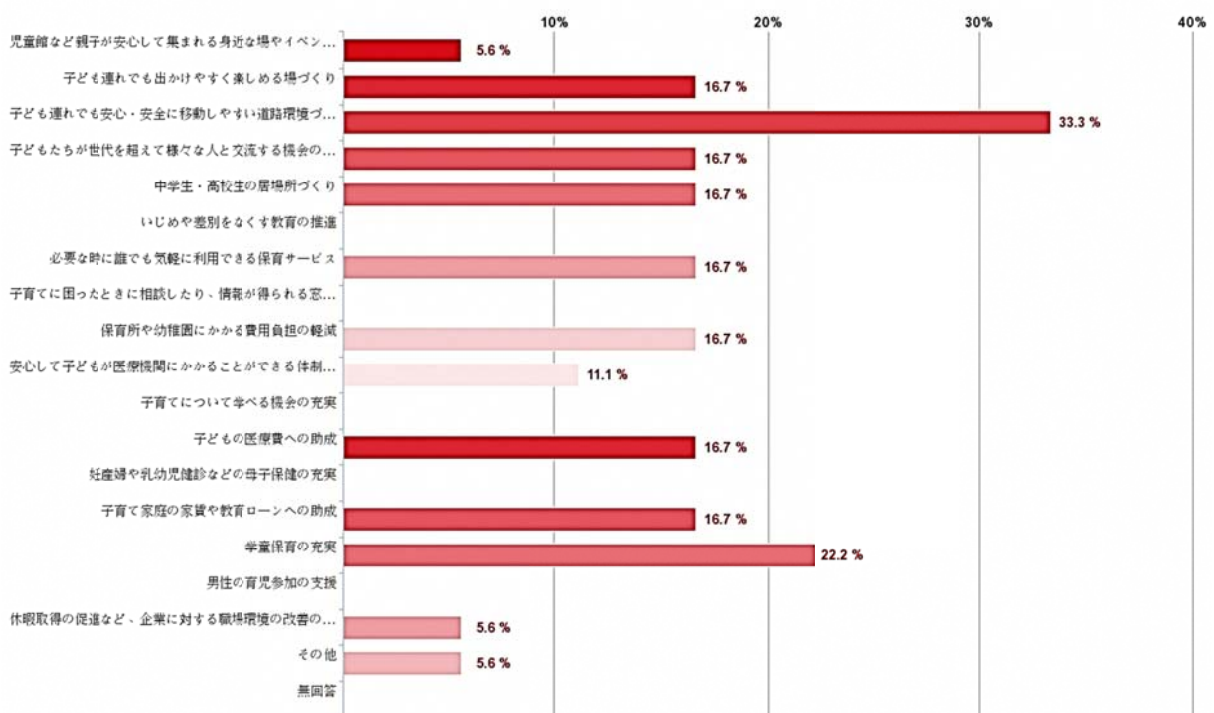
Q 16 次に、地域ぐるみの子育て支援についておたずねします。白井市では、地域ぐるみでの親子の居場所づくりや子育て支援に取り組んでいます。あなたは、お住まいの地域に子育てを応援する環境が整っていると思いますか。

n=18



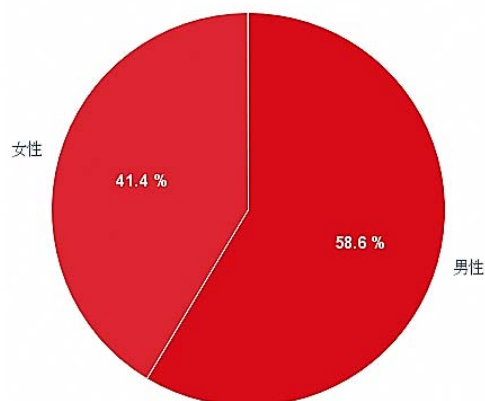
Q 17 あなたは、子育て支援策として、今後どのような取組が重要と考えますか。次の中から2つまで選択してください。

n=18

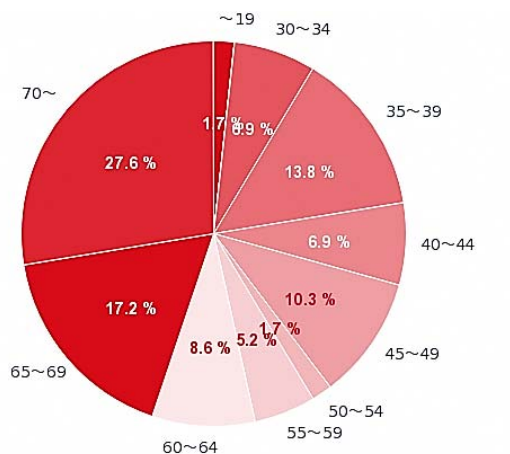


【基本情報】

○性別



○年齢構成



【自由意見】

■子育て支援・教育

学童や児童ホームでもっと子どもに寄り添ってほしい。

未就園児の集いの場所があるのはありがたいです。家にこもると話し相手もなく疲れてしまうので。

一時保育を利用せざるを得ない状況でお世話になりましたが4万円超えの請求が来ましたが。実際には先生の配置の関係で希望する全日程に行くことができませんでしたが高額な費用に驚きました。

駅前・直近での保育施設がありません。働く女性には優しくないと思います。

白井市はこどもにかかる政策が後回しになっている

子育て環境について、積極的に整備されているとは思えないのが現状ではないでしょうか。

中学の部活にもう少しちからをいれてもよい。経験者がいるにも関わらず、未経験者が顧問は、おかしい。意味がない。

■若い世代が集う場づくり

若い世代が気軽に集えるようなコミュニティスペースや飲食店が欲しい。

■交通

北総線が高いので運賃を下げてもらいたい。白井小町内の道路に市役所や新鎌ヶ谷駅に行くバス停がほしい。
今後は北総線の値下がりが必要だと思います。これをクリアすれば、住みやすさ大幅アップです。
若い世代とピンポイントで見るだけではなく、若い世代が中高年になった時にも住みやすい環境であるかが大事だと思います。北総線の運賃が高く、子どもが高校生になるタイミングで出て行く方もいます。高齢者に対する支援はそれなりに整っているとは思いますが、何事もトータルの捉えて進めていってほしいです。
交通費の補助
今井は平塚まで広い道路があるが歩道が片側交互だったり途中までしかない。街灯も少なく駅までの公共交通手段が無い為、高校生大学生になっても送迎をしなければならい。運転が出来ない高齢者は買い物、病院にも行かれない
幼児期の生活利便性、就学以降の交通の利便性は必須
北総線の異常な高運賃がネックだと思います。市の立場からも運賃引き下げに努力すべきと考えます。
まず白井市は北総線の運賃を下げる努力を県、印西市と共同で 取り組みを最優先すべき。運賃が高いので白井市から出て行く世代もいることをご存知ですか
駅から遠いところに住宅地が広がってきているため、その地域の利便性があがれば若い世代が定着しやすくなると思います。駅までの交通と駅周辺の幼稚園や保育施設の整備等が必要だと感じます。
公共交通がもう少し便利になるよう要検討。
自然もあり、子育てをしやすい環境ではあるが、中学、高校と、進学すると交通費がかかってきてしまう。二人や三人を電車通学させると都内で家賃が出せるため、実際都内に引っ越してしまう人もいます。若い世代は通勤も考えると、アクセス特急も止まらない白井市よりニュータウン中央の方が魅力的だ。
北総線の運賃値下げ。都心への通勤/通学者の高額定期代や個人で運賃を払う場合には二の足を踏む。
昨年も書かせて頂きましたが、北総線の運賃の高さが問題だと思います。近所の人とも話しているのですが、若い人達は、高額な交通費ゆえに働く会社が限定されてしまうそうです。

■道路

狭い歩道を広くしてもらいたい。でこぼこで冠水する道路を整備してもらいたい。
木下街道の近辺に家がありますが、今年小学生になった子供が居ます。木下街道を歩いて通学しますが、歩道がとても狭いので、自転車とのすれ違いや、車の往来が激しいので、とても怖いのです。本望は、歩道を広くして欲しいのですが、せめてガードレールをつけて欲しいです。毎朝なので、親としても、あの街道を歩いている子供達が心配になります。
木下街道など渋滞している道路が多く、通勤や出掛けの際にとっても困る。道路を増やすなど、渋滞緩和をしてほしい。

■就業

設問の方向の根拠が間違っている。若い世代、夫婦は経済的基盤が最重要。白井市は綺麗でインフラもある程度整っている。問題は就業機会が少なく、東京都内には一杯あり、交通手段が高すぎる。交通費を平気で負担できる企業は大企業。中小は大変。

企業説明会などを積極的にやって、若い世代に白井の企業や定住に もっと興味をもたせることが必要。

子供連れで働ける環境があったらいいと思う。預けて働くと、働いたお金が全て保育料でなくなってしまうので、働く意味がなくなる。

■認知度

若者世代に向けた、行政からの発信不足。魅力発信課の発信力に期待。

■商業施設

駅前の飲食店、ショッピング施設の充実

余暇を含み魅力的な施設が無い。印西市のように発展的な町作り に取り組んでもらいたい。

買い物をする食料品スーパーが少ない。食料品は常に印西市のスーパーで買っている。

今、20代の若い世代が、地元から会社に通っている人が増えているように思います。そのような若者に向けた仕事後、休日を利用してできるイベントや施設があるといいかもしれません。

■その他

管理された準公営の、建築基準を満たしたシェアハウス等の設置（既存団地建物のリノベーションで）。設計も若い建築家に。

昔の子育てより大変な現在の若い世代や家族を受け入れる地域（高齢者）の包容力が必要だと思います。

乃木坂 46 の白石麻衣(白井市 MY)さんに 白井市の観光大使になってもらう。

市役所に勤務している職員全員が白井市を【より良くしたい、住みたい】という思いを持ち、日々の仕事をせねば若い世代の移住・定住は無いと思います。

若い人の給料では、家のローンや子育て等の生活費にかかる金額は大変そうです。

我が家の近所にある某有名ホームは、いつになったら完売できるのかと不安に思いながら見ています。

目の前にある社会保険庁の施設は閉館してから何年も経ちます。宿泊施設やテニスコート等の立派な施設が朽ち果てています。国の税金の無駄遣いの一つなのではないでしょうか・・・。白井市で活用できないのでしょうか？ ※昨年も書かせて頂きましたが、回答後の確認画面がでないのは不便です。ご一考下さい。

金銭面インセンティブも必要だが、精神面インセンティブも強化PRしたい。地域内同世代間の交流活性化策、地域全体での育児支援活動支援策等

市内で異業種異文化の人の交流ができるような場があればいいのと思います